

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第16週)

宮城県【平成25年04月25日】発行  
宮城県保健環境センター  
TEL (022)257-7228

- 2013.4.15 ~ 4.21 ・ 第16週 -

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾病	保健所								仙台市 患者数	宮城県(含む仙台市)				
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数		累計	第13週	第14週	第15週	第16週
水痘	3 0.60	2 0.20	8 1.60	5 2.50	8 2.67	3 0.60		18 0.69	47 0.81	1,200	◎→	◎→	◎→	○
流行性耳下腺炎	1 0.20	3 0.30			2 0.67			12 0.46	18 0.31	388	レ→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	40 8.00	58 5.80	31 6.20	32 16.00	22 7.33	32 6.40	16 8.00	253 9.73	484 8.34	6,428	◎→	◎→	◎→	◎
手足口病					1 0.33				1 0.02	149	→	→	→	
伝染性紅斑	6 1.20	3 0.30					4 2.00	1 0.04	14 0.24	141	→	→	→	
突発性発しん	2 0.40	7 0.70	7 1.40		2 0.67	1 0.20	1 0.50	14 0.54	34 0.59	529	○→	○→	○→	○
ヘルパンギーナ			1 0.20						1 0.02	14	→	→	→	
インフルエンザ	22 2.75	13 0.87	54 6.75		2 0.40	14 1.75	20 5.00	64 1.52	189 2.03	14,868	◎→	◎→	◎→	◎
咽頭結膜熱			2 0.40	1 0.50				12 0.46	15 0.26	259	レ→	→	→	
流行性角結膜炎								3 0.50	3 0.25	36	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	18 3.60	34 3.40	6 1.20	3 1.50	4 1.33	37 7.40		39 1.50	141 2.43	1,743	◎→	◎→	◎→	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎							1 1.00		1 0.08	5	→	→	→	
マイコプラズマ肺炎	1 1.00	4 4.00	4 4.00	1 1.00			1 1.00	4 4.00	4 1.58	326	→	→	→	
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	1 0.20	1 0.10						4 0.15	6 0.10	203	→	→	→	
拡張疾病														
マイコプラズマ肺炎(小児科)		4	2		1			5			◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向			
川崎病			1								【週報の詳報】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 <a href="http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansan-center/">http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansan-center/</a>			
不明発疹症														

## 今週の全数報告疾病

\*男児、女児は6歳未満

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
  - 大崎管内 女性1名
  - 石巻管内 男性1名
  - 栗原管内 女性1名
  - 仙台管内 男性3名、女性1名
- 3類感染症: 報告なし
- 4類感染症: E型肝炎
  - 仙南管内 男性1名
- 5類感染症: アメーバ赤痢
  - 塩釜管内 男性1名
- 風しん
  - 仙南管内 男性1名(検査診断例)
  - 気仙沼管内 男性2名(検査診断例)
  - 仙台管内 男性1名、女性1名、\*女児1名(検査診断例)
  - 女性1名(臨床診断例)

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告 3例 (仙台市を含む基幹定点報告)

## 今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【風しん】

先週に引き続き、仙南、気仙沼、仙台管内で報告がみられた。風しんの流行は初夏がピークになることが多いことから、今後も流行の拡大が懸念されるため、引き続き注意を要する。

【伝染性紅斑】

気仙沼管内で警報継続中。

## 【病原体検出情報】

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第14週採取分 (4.1～4.7)	第15週採取分 (4.8～4.14)	第16週採取分 (4.15～4.21)
インフルエンザウイルスB型	1件	1件	0件
RSウイルス	2件	1件	2件
アデノウイルス	1件	5件	1件
ヒトメタニューモウイルス	1件	0件	0件

## インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群	0～4歳 (%)	5～9歳 (%)	10～14歳 (%)	15～19歳 (%)	20～29歳 (%)	30～39歳 (%)	40～49歳 (%)	50～59歳 (%)	60～69歳 (%)	70～79歳 (%)	80歳～ (%)	総数 (人)
2013年 第11週		20.3	31.7	11.2	3.7	6.1	8.8	4.3	4.8	3.7	3.5	1.9	375
第12週		21.6	30.0	14.1	3.8	0.9	6.1	8.0	4.7	4.7	1.9	4.2	213
第13週		20.5	22.0	16.1	4.4	8.8	7.8	6.3	6.3	3.4	2.9	1.5	205
第14週		25.2	24.5	8.8	3.8	3.8	15.1	8.2	3.8	3.1	1.9	1.9	159
第15週		26.8	24.1	9.8	3.6	6.3	6.3	6.3	4.5	2.7	1.8	8.0	112
第16週		11.6	25.9	30.2	9.5	2.1	3.2	6.3	4.8	2.1	2.6	1.6	189

インフルエンザ定点は、内科定点と小児科定点を合わせたもので、県全体で93定点です。  
宮城県: 51定点  
仙台市: 42定点  
合計: 93定点

## 定点把握の対象となる5類感染症(全国 2013年第14週) (国立感染症研究所感染症情報センターホームページより抜粋)

インフルエンザ: 定点当たり報告数は第5週以降減少が続いている。都道府県別では石川県(9.77)、岐阜県(7.36)、山口県(6.97)、秋田県(6.76)、宮城県(6.64)が多い。RSウイルス感染症: 報告数は580例と第9週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約79%を占めている。咽頭結膜熱: 報告数は第11週以降減少が続いている。宮城県(1.06)、山形県(0.70)、福岡県(0.67)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎: 報告数は第11週以降減少が続いている。石川県(5.28)、鳥取県(4.32)、富山県(3.21)が多い。感染性胃腸炎: 報告数は第11週以降減少が続いている。大分県(14.81)、島根県(12.83)、長野県(9.89)が多い。水痘: 報告数は減少した。愛媛県(2.59)、熊本県(2.48)、福岡県(2.29)が多い。手足口病: 報告数は増加した。沖縄県(2.09)、島根県(1.78)、福岡県(1.02)が多い。伝染性紅斑: 報告数は増加した。富山県(0.66)、新潟県(0.25)、宮城県(0.24)が多い。百日咳: 報告数は減少した。大分県(0.17)、鳥取県(0.11)が多い。ヘルパンギーナ: 報告数は3週連続で増加した。長崎県(0.52)、佐賀県(0.43)、山口県(0.24)が多い。流行性耳下腺炎: 報告数は減少した。福井県(1.14)、秋田県(1.03)、福島県(0.64)、長崎県(0.64)が多い。マイコプラズマ肺炎: 報告数は2週連続で減少した。静岡県(1.20)、青森県(1.00)、山口県(0.89)が多い。